

光と風の輪

第43号

2016.1.20発行

光：生きがい、歓喜 風：力 輪：仲間、連帯



謹賀新年



「伝承館」展示ブース



も く じ

◆会長新年あいさつ 1	◆第28回全国健康福祉祭やまぐち大会 10
◆平成28年度の主な行事予定 1	◆ // // 地域文化伝承館視察報告 ... 11~13
◆知事新年あいさつ 2	◆「女性リーダーセミナー」に参加して 14
◆第50回長崎県老人クラブ記念大会 3	◆第11回銀の翼に参加して 15
◆平成27年度各種表彰 4	◆「社会奉仕の日」活動報告 16
◆県老連創立50周年に寄せて 5~6	◆第13回県ねりんピック 17
◆市町老連女性リーダー研修会 7	◆老人クラブ傷害保険 18
◆市町老連若手リーダー研修会 8	◆第29回全国健康福祉祭
◆第44回全国老人クラブ大会 9	ながさき大会「地域文化伝承館」 19
◆平成27年度九州ブロック研修会参加報告 9	◆編集雑感 19

会長 新年あいさつ



長崎県
老人クラブ連合会
会長 島中 英安

新年明けましておめでとうござ
います。

会員の皆様には、健やかに新し
い年をお迎えのこととお慶び申し
上げます。

また、日頃より当連合会の各種
事業に参加いただきとともに、ご
支援ご協力を賜り厚く感謝申し上
げます。

さて、高齢社会が進展する中、
私たち老人クラブは、地域を基盤
とする高齢者自身の組織として、
高齢者の知識や経験を活かし、地
域社会の中心的な担い手となるこ
とが求められ、また、その期待に
応えていかなければなりません。
慣れ親しんだ地域で、生きがいの
ある自立した生活をできる限り長
く続けていけることが必要であり、
その役割を地域において高齢者が
担うことは、自分自身の介護予防
にもつながり、「自分らしく生きる」
上で大切なことだと思えます。

私たちがこれまで取り組んできた、
生きがいづくりや健康づくり、
友愛訪問、地域社会への奉仕活動
などの経験と実績を活かし、高齢
者が相互に支え合う仕組みを実現

することが、メインテーマである
「のびそう！健康寿命、担おう！地
域づくりを」につながるのではな
いでしょうか。

一方、高齢者人口が増加する中、
老人クラブ活動の基盤となる会員
が減少しています。まずは平成26
年度から取り組んでいる「2万人
会員増強運動」を着実に進めるこ
とが必要です。昨年以上に、目標
達成に向け、それぞれの立場で会
員増強運動に取り組んでいただき
たいと思います。

いよいよ10月には第29回全国健
康福祉祭、通称「ねんりんピック」
が「長崎でひらけ長寿の夢・未来」
をテーマに長崎県において開催さ
れます。県老連では、市町老連のご
協力をいただき、高齢者が取り組
んでいる様々な地域文化等の活動
を披露する「地域文化伝承館」を
県立総合体育館において実施いた
します。現在、出展及び出演団体
も決定し、各団体におかれまして
は作品の準備や練習に取り組みま
れていると存じます。地域文化伝承
館の成功に向けて頑張りましょう。
最後になりましたが、日頃ご支
援ご指導をいただいている行政当
局並びに関係団体に感謝申し上げ
ますとともに、会員皆様にとつて
明るく、幸多き1年となりますよ
うお祈り申し上げ、新年のご挨拶
といたします。

平成28年度 主な行事予定

- 第13回長崎県ねんりんピック
平成28年5月14日(土)
長崎市総合運動公園を主会場
- 県老連評議員会
平成28年6月22日(水)
長崎市
- 地域文化伝承館実行委員会
平成28年6月22日(水)
長崎市
- 市町老連会長研修会
平成28年6月22日(水))
23日(木) 長崎市
- 高齢者相互支援事業研修会
平成28年6月・7月
苓岐市・長与町・松浦市・
南島原市
- 市町老連事務局長等会議
平成28年7月1日(金)
長崎市
- 九州ブロック老人クラブ
リーダー研修会
平成28年7月7日(木))
8日(金) 福岡市
- 市町老連女性リーダー研修会
平成28年8月25日(木))
26日(金) 長崎市
- 市町老連若手リーダー研修会
平成28年8月31日(水))
9月1日(木) 島原市
- 健康づくりリーダー養成講習会
平成28年未定
長崎市・島原市・五島市・
東彼杵町
- 地域文化伝承館
(第29回全国健康福祉祭)
平成28年10月15日(土))
17日(月)
長崎県立総合体育館
- 第45回全国老人クラブ大会
平成28年11月9日(水))
10日(木) 富山県
- 第51回長崎県老人クラブ大会
平成28年12月8日(木)
諫早市
- 第12回「銀の翼」
平成29年2月頃
渡航先等は未定



知事 新年あいさつ



長崎県知事
中村 法道

新年あけましておめでとうござ
います。

皆様には、健やかに新春をお迎
えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、被爆か
ら70年を迎え、中国駐長崎総領事
館開設30周年、長崎空港開港40周
年など、本県にとりまして大きな
節目の年でありました。7月には、
端島炭坑（軍艦島）をはじめ本県
が8つの構成資産を有する「明治
日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、
造船、石炭産業」が、世界文化遺
産として登録されたことは、本県
の歴史に新たな1ページを刻む、
たいへん喜ばしい出来事でした。

今年「長崎の教会群とキリス
ト教関連遺産」の世界文化遺産登
録の可否が審議されます。今後も
気を引き締めて、関係者の皆様と
一緒に2年連続での登録実現へ向
け、全力を傾注してまいります。

また、本年10月には、全国健
康福祉祭「ねんりんピック長崎
2016」の開催、さらに10月か
ら12月にかけて、JRGグループと
連携して、「旅さきは ながさき」
を合言葉に、全国で「長崎デステ

イネーションキャンペーン」が展
開されるなど、今年も多くの皆様
のご来県が予想されます。一昨年
の長崎がんばらんば国体・大会と
同様に県民総ぐるみの「おもてな
しの心」で温かくお迎えしたいと
考えておりますので、幅広い県民
の皆様のご協力をお願い申し上げ
ます。

さて、28年度は新たな総合計画
の初年度にあたります。

我が国が本格的な人口減少社会
を迎え、地域間の競争が一層激し
さを増す中、本県の構造的課題の
解決を図り、将来にわたって持続
的に発展していくためには、本県
の強みを最大限に活かしつつ、人
口減少対策や産業振興・雇用対策
等の一層の強化を図り、活力ある、
たくましい長崎県を創り上げてい
くことが重要です。

このため、新たな総合計画では、
「人、産業、地域が輝く、たくまし
い長崎県づくり」の基本理念のも
と、実現をめざす5つの将来像を
掲げ、本県の未来を切り開く新た
な施策や様々なプロジェクトを戦
略的かつ積極的に展開してまいり
たいと考えています。

具体的には、世界遺産等を活用
した県内周遊対策や戦略的な情報
発信などにより、一層の誘客促進
を目指すとともに、クルーズ船の
誘致拡大などを通して海外からの

活力の取り込みを図るなど、「交流
でにぎわう長崎県」づくりを強力
に推進します。

また、全国に先行して人口減少、
高齢化が進む中、県民の皆様が、
様々な分野でそれぞれの役割を担
いつつ、互いに支えあひながら、
いつまでも健康で、生きがいを持
って活躍していただける社会を実
現するため、元気な高齢者や女性
の活躍をこれまで以上に支援して
いくとともに、すべての子どもが
健やかに成長できる環境づくりや
医療・介護・福祉サービスの充実
など、「地域みんなが支えあう長
崎県」づくりに力を注いでまいり
ます。

そして、若者の県外流出に歯止
めをかけるためには、県内産業の
成長や活性化を支える人材を育成
し、その人材を県内に定着させて
いくことが重要です。そのため、
学校教育から企業現場までの切れ
目のない人材育成を行う独自のプ
ログラムを構築するなど、産学官
が連携した人材育成と県内就職促
進に力を注ぐとともに、県民の皆
様が希望する結婚、妊娠・出産、
子育てが実現できる社会を築いて
いくため、婚活支援の充実、子育
て環境の整備など、「次代を担う『人
財』豊かな長崎県」づくりを進め
ていきます。

さらに、人口減少対策に不可欠

な県民所得の向上を目指していく
ためには、力強い産業の育成と良
質な雇用の場の創出につながる施
策を展開していかなければならな
いと考えています。そのため、海
洋エネルギー関連産業の拠点形成、
地場企業の競争力強化、企業誘致
の推進、力強く豊かな農林水産業
を実現していくための強い経営体
の育成や収益性の向上など、各産
業分野における「力強い産業を創
造する長崎県」づくりを進めてま
いります。

あわせて、県民の皆様が安心・
安全で快適に暮らしていただける
よう、しまや過疎地域等の活性化、
安全・安心なまちづくり、良好で
快適な環境づくり、災害に強い県
土づくり、交通ネットワークの整
備など、「安心快適な暮らし広がる
長崎県」づくりを着実に進めてま
いります。

ただ、本県の課題を克服するた
めには、行政の力だけではなく、
県民の皆様をはじめ、企業、大学、
NPO、市町など、地域社会の様々
な力を結集して取り組んでいくこ
とが何よりも大切であります。こ
れからの長崎県の発展のため、ど
うか皆様のお力添えを賜りますよ
うお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆様にとり
まして素晴らしい年となりますよ
う心からお祈り申し上げます。

第50回長崎県老人クラブ 記念大会報告

(県老連創立50周年)

メインテーマ

「のばそう！健康寿命、
担おう！地域づくりを」

平成27年11月18日(水)諫早市文化会館において、多くの来賓にご出席賜り、県下各地から約1200名の会員が参加し、第50回長崎県老人クラブ記念大会を開催しました。

金富副会長による開会のことばで開幕。開会挨拶の中で島中会長は、昨年から取り組んだ会員増強運動について「1年目の結果として、全市町老連が増加とはならなかったが、7市町老連が前年度より増加した。2年目以降もこれまで以上に皆様のパワーを全開し、それぞれ立場で会員増強運動に取り組んでいただきたい。」また、来年10月長崎県で開催されるねんりんピックの関連事業「地域文化伝承館」について、「山口県老連より『伝承館旗』を引き継いできた。今後、出演・展示等への協力をお願いします。」と呼びかけました。次に、県老連創立50周年にあたり、中村県知事から優良老人クラブ5団体へ特別表彰が行われ、続いて、功労者への会長表彰、来賓祝辞、時津町老連黒田会長が謝辞を述べられ、最後に、寺田副会長が大会宣言(案)を朗読、満場の拍手で採択されました。

式典の後には、『いつまでも元気に暮らす秘訣』老人クラブに期待すること』と題して、長崎大学副学長の松坂誠應先生による特別講演がありました。

松坂先生は、日頃、老人クラブが健康づくり等でお世話になっている『長崎県リハビリテーション支援センター』の代表を務められており、講話では、「高齢者の心と体の特徴・『寝たきり』になるメカニズム・介護予防と健康づくり・健康づくりのポイント・健康づくりから仲間づくり、地域づくり・老人クラブの役割」の6項目を解りやすく、楽しく紹介されました。

午後からは、県警察本部と諫早警察署のご協力により特殊詐欺についての講話と寸劇があり、その後の演芸発表では、10市町老連から12団体が出演し、各団体とも練習の成果を十分発揮され、皆さん大変楽しいひと時を過ごされたようでした。

ロビーでは、県老連若手委員会による「体力測定」の実演と「地域文化伝承館」の展示ブースの実物大の見本が設置されました。(展示ブースの写真は表紙に掲載)



諫早警察署寸劇

《演芸発表参加チーム(出演順)》

①長崎市老連

森啓子 他10名
民謡「面浮立」

②南島原市老連

池田澄恵 他6名
舞踊「人生みちづれ」

③杵岐市老連

柳澤幸子 他6名
民謡「新杵州おけさ」

④長与町老連

田島博子 他14名
民謡「花笠音頭」

⑤島原市老連

西田正剛 他17名
舞踊「島原ハイヤくずし」



島原市老連「島原ハイヤくずし」

⑥大村市老連

岩本チヅ子 他8名
創作ダンス
「ソウビニューティフル」

⑦佐世保市老連

種田恵美子 他10名
太極拳「32式剣」

⑧長崎市老連

中島弘子 他13名
舞踊「龍馬おどり」

⑨大村市老連

山口鷹士 他12名
創作舞踊「望郷じよんがら」



大村市老連
「望郷じよんがら」

⑩佐々町老連

岡洋子 他13名
民謡「佐渡おけさ」

⑪雲仙市老連

井上哲夫 他8名
伝承芸能 小豆島望郷歌「よ伊勢」

⑫諫早市老連

伊藤弘 他21名
舞踊「水戸黄門おどり」



諫早市老連「水戸黄門おどり」

晴れのこ受賞おめでとぅございませう

平成27年度各種表彰

県老連50周年記念大会知事表彰

長崎市 なつみ会
 // 恵美須会
 佐世保市 星和クラブ
 大村市 上久原壮寿会
 五島市 下崎山老人クラブ

全国老人クラブ連合会会長表彰

●育成功労者表彰
 長崎県老連 島中 英安
 長与町老連 内田 政信

●優良老人クラブ表彰
 佐世保市 喜久寿会

●優良郡市区町村老連表彰
 長崎市 三重地区老連

長崎県老人クラブ連合会会長表彰

●永年勤続功労者表彰
 《市町老連役員38名》
 長崎市老連 森川 博
 佐世保市老連 小村 省二
 // 森 登
 // 金子 健夫

佐世保市老連 岡 昭男
 // 相川 和男
 // 松田 義弘
 // 森 瑩子
 // 福田 ハマエ
 // 吉本 勝一
 島原市老連 荒木 千鶴
 // 松本 秀敏
 // 梶山 富子
 // 中山 ヤスエ
 // 山本 正毅
 諫早市老連 下釜 健巳
 // 木村 博行
 // 田中 肇
 // 山口 邦明
 // 藤原 瀧春
 // 前田 満行
 大村市老連 吉田 守
 // 野口 喜美子
 // 盛田 智之
 // 永田 俊子
 松浦市老連 道山 熙
 // 松永 茂治
 // 安部 恭一
 // 齋藤 義人
 対馬市老連 井上 徹
 // 五島市老連 平尾 克美
 // 里中 鶴男
 // 吉田 央子
 西海市老連 境 香

南島原市老連 青木 久子
 // 銭谷 健
 // 石山 一代
 時津町老連 黒田 博

●優良老人クラブ表彰

《6クラブ》
 長崎市 緑会
 // 親和会
 佐世保市 喜久寿会
 // 峰長生クラブ

諫早市 馬渡町老人クラブ
 白寿会
 南島原市 大野木場団地老人クラブ

●仲間づくりプラスワン作戦

《7老連》

壱岐市老連
 島原市老連
 時津町老連
 佐々町老連 (3年連続受賞)
 長与町老連 (7年連続受賞)
 松浦市老連
 対馬市老連

●会員増強運動特別賞

《14クラブ》
 長崎市 睦寿会
 // 小ヶ倉しゅうや会
 // 福寿会
 諫早市 高天町老人会

諫早市 貝津町長寿会
 大村市 三浦東老人クラブ
 松浦市 里第二不老会
 // 今福第一長寿会
 // 阿翁浦北老人クラブ
 // 阿翁浦南老人クラブ
 五島市 荒川老人クラブ
 西海市 白崎老人クラブ
 長与町 高寿会
 // 観寿会

全国老人クラブ連合会表彰

『活動賞』

●仲間づくり活動部門
 大村市 木場老人クラブ長寿会

●健康づくり活動部門
 長崎市 土井首地区
 老人クラブ連合会

●ボランティア活動部門
 諫早市 平山町寿会
 南島原市 有家地区
 老人クラブ連合会

『100万人会員増強運動特別賞』

長崎市 睦寿会
 諫早市 高天町老人会
 五島市 荒川老人クラブ
 長与町 観寿会

県老連創立 五十周年に寄せて①



南島原市 長門 昭子

(元県老連副会長・女性部会長)

先輩から「婦人会も兼ねて老人会に入ってくれんね。老人ばかりで面白くなかけん。」と誘われて老人会に参加させてもらったのが、六十代の半ばでした。

平成11年1月21・22日横浜のプリンスホテルで行われる友愛活動全国大会に参加の声がかかり、会の内容が何も判っていない私は、チャンスと思い参加することに決めました。

出発直前、県老連から電話があり、グループ協議の司会をするように言われ、参加にとびついた軽率さを反省した次第です。

初めての全国的な会に、初心者の私が参加という不安をいっぱい抱えて会場に着きました。

「長崎県の方々ですね。私も五島出身ですよ。」とにこやかに声を掛けて下さったのは、本会主催全老連の事務局長「川尻禮郎様」と判り、砂漠でオアシスに逢った安堵

感を覚えました。

平成17年1月25・26日、東京アジュール竹芝で実施された第10回友愛活動リーダー交流会に又もや参加させてもらいました。

時しも町村合併の真最中で、合併に伴う老人会の組織変動等の実態を発表するように指名され、無我夢中で現況を話し、辛うじて責をふさぎました。

平成17年度の役員改選により県老連副会長兼女性部長という大役を仰せつかり、今後どうしようとして不安でいっぱいでした。

取り敢えず全老連・県老連で開催される役員会、研修会に極力出席し、老人会について勉強させてもらいました。おかげで他県の方々との交流も深まり、全老連で顔を合わせるのが楽しくなりました。

又、県老連主催の相互支援推進のため、毎年4箇所程度の市町村老連へ参加させて頂き、その地域の実情も識り交流もでき、私にとりましてとてもプラスになることばかりでした。

印象的な出来事を少し紹介させていただきます。

平成20年本県で開催された全国老人大会でした。準備のため幾度となく役員会も開かれ役割も決まりました。女性部は参加者全員にお持ち帰りいただく、お土産用のマスコット作りでした。

役員会で決めたオランダ万才の人形は、予想より難しかったとみえ、県老連の事務所を訪ねた時には、手直しが必要と思われる人形が山積みされていました。村岡局長も随分手直しに協力して下さいました。結局、田原女性副会長と私が自宅に持ち帰り、やつ



大会宣言を朗読する長門さん

と期日に間に合わせる事ができました。おかげ様で大会は恙無く終わることができました。

平成21年10月31日、突然、心筋梗塞という病に冒され幸い一命は取り止めましたが、健康に自信がなくなり翌22年に役目を退かせてもらいました。今は、一老人会員として、会の発展を願いつつ、できる活動に参加しております。

平成23年金沢で行われた全国大会で、全老連会長から、翌24年、東京で実施された第50回記念大会では厚生大臣賞をいただき、身に余る名誉と感謝しております。

最近、急速に進んだ少子高齢化の風に飛ばされそうな老人を、しっかり「絆」の輪で守っていけるのは老人クラブの存在です。

老人クラブは、地域の人と協力してより良い社会を作っていく為に在宅福祉を支える友愛活動・子供や老人を事故から守る活動・環境美化・ボランティア活動等を行う必要不可欠な組織です。

地域のニーズに合わせた魅力ある老人クラブ活動を続け、一人でも多くの仲間を増やして、老人の事故や孤独を失くす為に力を合わせて生きていきたいと思えます。

県老連創立 五十周年に寄せて②

長崎市 高橋チヨノ

(元県老連事務局長)

長崎県老人クラブ連合会創立五十周年おめでとうございます。

私は平成15年4月から平成18年3月まで3年間事務局にお世話になりました。

就任当初は、初めての女性の事務局長と言うことで、会長さんをはじめ会員の皆様方にもたいへんご心配をおかけしたのではないでしょう。

お陰様で皆様方の暖かいご支援をいただきどうにかつとめさせていただいたことを感謝申し上げます。

当時は県においても市町村合併推進の真最中でした。市町村合併に伴い市町村老人クラブ連合会も再編成を迫られることとなり、それぞれの老連では何度も会合を開き、ご苦勞を重ねながら、会員の皆様方をまとめていかれたリーダーの方々にはただただ敬服するばかりでした。



説明する高橋さん

県老連の役員会などで市町村老連の役員の方々とお会いする機会も多かったのですが、理事会の休憩のときにはよく戦争のお話をきかせていただきました。

実際に戦場で戦った方や兵器工場で爆撃を受けた話、負傷したら

国に帰れるからと利き腕ではない方を砲火にさらしても当たらなかった話など、また理事さんの中で階級は誰が一番上かなどなかなかお話もあって戦時下での青春時代を垣間見た気がしました。

県老連で人生経験豊かな皆様方と時間を共有できたことは、その後の私にとって大きな財産になったと思っています。

社会全体としては高齢者が増えているなかで、会員が減少していることは残念なことではありますが、それぞれの健康状態や経済的な問題等もあり高齢者の生き方も多様化しております。

加入する時期、動機なども個人差があるでしょう。そんな中で加入促進は難しい面もあるとは思いますが、会員一人ひとりが地域の中で常に周囲に目配りし、必要としている方やそろそろ入ろうかと思っている方にタイムングよく手を差し伸べ、ひと声かける勇氣を持つことが大切なのではないでしょうか。なにより老人クラブが楽しく活動を継続していることが加入促進の大きな決め手になるのではないかと思います。

ややもすれば孤立しがちな高齢



アトラクション 大浦保育園

者が地域で暮らしていこうとする時、老人クラブは強い支えになると信じております。
長崎県老人クラブ連合会の今後ますますのご発展を心からお祈りしております。

市町老連 女性リーダー研修会 開催報告

平成27年9月3日(木)～4日(金)

南風楼(島原市)において、女性リーダー55名が参加して研修会を開催しました。

島中会長、寺田女性部会長の開会挨拶の後、報告、講話、事務局説明、グループ協議・全体会、創作タイム(折り紙・まゆだま)などが行なわれました。



【報告】

「第26回老人クラブ女性

リーダーセミナー」

佐世保市老連

田坂弘子女性部長

「第20回在宅福祉を支える

友愛活動セミナー」

時津町老連

中山明美女性部長

【講話】

「認知症の理解について」

長崎県 長寿社会課

矢野亮一係長

「認知症サポーター養成講座」として、高齢化の推移、認知症とは、認知症と気づくポイントなどについて講話いただき、最後に認知症サポーターの目印であるオレンジリングが参加者へ配付されました。

【説明】

県老連事務局

・会員増強運動の結果など

【グループ・全体協議】

テーマ

第1分科会

「会員増強について」

第2分科会

「友愛活動(新地域支援活動)について」

参加者が5～6人の10グループに分かれ、「会員加入について女性部としての取り組み状況」「会員増強運動の結果と反省、今年度の取り組み」「各地域での友愛活動状況と関係機関との連携」など日頃の活動の成果や悩み、その解決策等について情報・意見交換が行われ、翌日の全体会で協議結果をグループごとに発表し、協議を行いました。



【創作タイム】

大村市老連の野口喜美子女性部長と佐世保市老連の田坂弘子女性部長の指導により「折り紙つばき・あじさい」と「まゆだま」を作りました。

今回の創作は、平成28年に長崎県で開催される「ねんりんピック長崎2016・地域文化伝承館」において来場者に配布される記念品となるため、確実に作成できるよう講師の方々の懇切丁寧な指導により皆さん真剣に取り組みされました。今後、各地域において今回参加された方々が講師となって記念品が作成される予定です。

市町老連 若手リーダー研修会 開催報告

平成27年9月10日(木)～11日(金)の健康村(長崎市)において、若手リーダー46名(うち女性7名)が参加して研修会を開催しました。

島中会長、中野委員長の開催挨拶の後、講話、事例発表、事務局説明、報告、グループ協議・全体会などが行なわれました。



【講話】

長崎県 長寿社会課

飛田英孝 課長補佐

「介護保険制度の改正について」「介護予防の今後の方向性について」

【事例発表】

県老連若手委員会

中野勝利 委員長

・「市町老連若手委員会」が会員増強に果たす役割
 ・平成27年度市町老連会員増強運動方針を踏まえて」

・若手委員会未設置市町老連での若手が会員増強に果たす役割
 ・若手が会員増強するには単独より組織的な行動が効果的！
 ・若手委員会の設置が必要！

【事務局説明】

県老連事務局

・平成26年度会員増強運動実績
 ・平成27年度の主な行事
 ・老人クラブ傷害保険、賠償責任保険について

【報告】

「第12期健康づくりセミナー」に参加して

長崎市老連

加納省司

「第20回在宅福祉を支える友愛活動セミナー」に参加して

佐世保市老連

金子健夫

【グループ・全体協議】

テーマ

「若手委員(会)(若手役員)が会員増強に果たす役割は何か」

参加者が8グループに分かれて各市町老連における取組状況や今後の計画、新たな取組みの提案など活発な意見交換が行われ、翌日の全体会では中野委員長の司会進行により討

議結果をグループごとに発表し、協議を行いました。

各グループから「各市町老連の取組み内容と反省点」をはじめ、「具体的な勧誘活動」「若手が取り組んでいる役割」などの問題点や今後の活動への提案などが発表され、「老人クラブのPRの重要性」「老人クラブの名称」「地域の実態に応じた取組み」などについて協議されました。



第44回全国老人クラブ大会

参加報告

平成27年10月28日(水)～29日(木)までの2日間、「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」をメインテーマに全国から約1800名、長崎県から12名が参加して、と静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」(静岡市)において開催されました。



1日目は、テーマ別に分散しての活動交流部会が行われ、1部会「支え合う地域づくり」、2部会「同世代の連帯・仲間づくり」、3部会「演じる活動」として各地域で取り組んでいる演劇や合唱などの活動について6団体が実演発表されました。

2日目は、地元シニアクラブのコーラスではじまり、久能山東照宮司・博物館長の落合偉洲氏の「徳川家康公と久能山東照宮」と題した講演、東海大付属静岡翔洋高等学校・中等部のチアリーダー部によるアート

アクションが行われ、式典では、全国老人クラブ連合会斎藤会長から老人クラブの育成に功績があった方々に賞状と記念品が贈られました。(本県からの受賞者は4ページに掲載)最後に「老人クラブ『100万人会員増強運動』の展開」など5項目の実践の誓いを盛り込んだ大会宣言

平成27年度九州ブロック老人クラブリーダー研修会

参加報告

平成27年7月9日(木)～10日(金)宮崎市(宮崎観光ホテル)において開催され、長崎県から24名、全体で約480名が参加しました。

(案)を静岡県老連平田副会長・女性委員長が朗読、満場一致で採択されました。次回の第45回全国老人クラブ大会は、平成28年11月9日(水)～10日(木)の日程で富山県において開催される予定です。

第3研究部会

「会員増強(100万人会員増強運動)の推進」

《基調報告》

「老人クラブとしての運動・行動提案」

社会情勢を踏まえて

全老連 齋藤秀樹 常務理事

《研究部会》

第1研究部会

「健康づくり・介護予防活動の推進」

第2研究部会

「友愛活動(高齢者相互の支え合い)の推進」



各研究部会それぞれ3団体から事例発表があり、第3研究部会では、本県長与町老連の内田会長が、「プラスワン作戦の連続受賞を目指して」と題して事例発表を行いました。

《講演》

「地域での高齢者の仲間づくりとケア愛」

宮崎市 ささえ愛生目台理事長

矢方 幸 氏

- ① 時代の変化
- ② 年を重ねると言いつつ
- ③ 地域で暮らしていくために
- ④ 仲間づくり
- ⑤ どうやってあの世に旅立つのかなど、私たちにとって身近で大切な課題についての講演でした。



第28回全国健康福祉祭
やまぐち大会
「ねんりんピックおいでませ！」
山口2015

常陸宮同妃両殿下のご臨席を賜り、平成27年10月17日(土)～20日(火)「おいでませ！ 元気な笑顔ゆめ舞台」をテーマに山口県下19市町村で25種目、全国から選手・役員約50万名が参加して開催されました。長崎県からは選手団として監督・選手159名が22種目の競技に参加し、全国各地から参加された選手団と交流を深めながら、実力を十分に発揮し健闘されました。



【主な成績】

○個人の部

●マラソン

- 杉本 美津子 70歳(長崎市)
- 女子3 km (70歳以上) 2位
- 古賀 隆則 63歳(佐世保市)
- 男子5 km (70歳未満) 2位

●水泳

- 森 洋一 74歳(諫早市)
- 男子25 m 自由形 (70～74歳) 2位
- 男子25 m 平泳ぎ (70～74歳) 2位
- 本山 説子 62歳(長崎市)
- 女子25 m 自由形 (60～64歳) 3位

●ボウリング

- 小山 和洋 66歳(佐世保市)
- 男子50 m 平泳ぎ (65～69歳) 3位

- 野口 明廣 67歳(島原市)

2位



●将棋

- 石川 和彦 69歳(長崎市)
- うずしおブロック 3位



○団体の部

●テニス

- 決勝トーナメント 1位グループ 3位



「入賞・優秀賞・その他の受賞」

◇美術展

《銅賞》

洋画の部

新堂 史子 67歳（長崎市）

作品名 『暦日』

◇優秀賞（個人）

ボウリング

井上 廣 65歳（長崎市） 4位

◇高齢者賞（個人）

健康マージャン

上 美智子 83歳（長崎市）



第28回全国健康福祉祭
やまぐち大会

地域文化伝承館の視察を
終えて

《伝承館視察レポート》

県老連副会長 寺田道子

山口県で開催された地域文化伝承館の視察に参加しました。

好天に恵まれ、現地にバスで着いて息を呑みました。あまりに広い駐車場、そして会場の明るく大きなドームに。平地が多い県は羨ましく感じました。



ステージでは、グループでの出演が主であり、老人クラブ会員がこの日の為に、日々努力された成果が見え、パワーを感じました。

出展では、各市老連が、地域の特性を活かし展示され、説明もわかりやすくされていました。

体験コーナーも沢山あり、丁寧に指導されていました。自分で作った物はお土産に頂き、得した気持ちになりました。

長崎大会でも、来場者には記念品として、少しでも多くお土産をあげられたら喜ばれるのではないかと思います。



《伝承館視察レポート》

川棚町老連会長 荻野行宣

快晴の中、山口きらら博記念公園多目的ドームの真っ白な会場が、私たちが温かく出迎え、また地域文化伝承館の入口に入ったときには、見事な大風心温かく迎えて頂きました。

ステージ発表では、歌に、踊りに、大道芸等の多彩な演技に感動させられました。

出展では、竹細工、手芸、大風、機織り体験など、作品の素晴らしさと同時に、作品の内容を、親切丁寧



にわかりやすく笑顔で教えていただきました。

また、実演にも誘われて挑戦しましたが、和やかな雰囲気、笑顔で親切に教えていただいたり、勝負で勝つたりと楽しい思いをさせていただきました。

いよいよ来年、長崎県でのねりんピックですが、あと1年もありません。

長崎県独自の地域文化伝承館の充実と成功を目指して取り組んでいかなければならないと痛感しました。



《伝承館視察レポート》

長崎市老連 角西好人

10月17日朝8時30分、地域文化伝承館の会場となる「山口きらら博記念公園」に視察団到着。

まず、敷地の広さに呆然となる。

公園の面積は約80ha、本来の駐車場は約900台の駐車が可能であるが、それ以外にねりんピックのために臨時で設けられた駐車場は、約1万台の駐車が可能と思われる広さでした。

メイン会場の多目的ドーム（広さ約13,300㎡）で行われたねん

りんフェスタは、とても余裕があり、地域文化伝承館、美術展、健康フェア・相談コーナーを含む「9」のイベントが開催されていました。



大会期間の出演団体は39団体、出演ブースは22団体。視察のスケジュールの関係で、1日目と2日目の午前中までしか視察できませんでしたが、皆様それぞれ創意工夫されて一生懸命やられていました。

また、それを支える伝承館のボランティア（老人クラブの会員）は60名で、ブルー系統のユニフォームを着用し、出演団体の舞台裏までの案内をしていました。

ただ、同じ伝承館なのに出展ブー

スにはボランティアの人はあまりいなくて、出展ブースの関係者が頑張っておられました。

やはり、自分達の自慢のものを展示されているので説明が丁寧でした。



また、郷土愛でしょうか、自分達の町にはこんな良い所があるので、是非遊びに来て貰いたいと熱心に誘われました。

出演及び出展については、長崎大会でもなんとかやれるとの見込みが立った有意義な視察だったと思えました。

後1年もありませんが、山口大会に負けない立派な長崎大会にしたいと思います。いや必ず成功させます。

ただ、一抹の不安として、山口の会場を見て、長崎市の地域文化伝承館の駐車場を含む交通アクセスがスムーズに行くのかと心配になりました。



《伝承館視察レポート》

佐々町老連 北村博義

平成27年10月17日・18日 山口きらら博記念公園で開催された「やまぐちねりんフェスタ」を視察して、まず驚いた事は、駐車場の雄大な広さでありました。

目的地の地域文化伝承館は、多目的ドーム（ソフトボール二面可能）

であり、視察団は開会式の1時間以上前に到着。会場に入ると見ると、学生達50名に依る迎太鼓の演奏を見聞きでき、伝承館会場の設置は、会場の入口左側に22のブースの出展場と、右側に出演ステージが設けられていました。

開会式典が開催されるまでに時間があまり、まだ準備中でしたが、視察



員の下げ札をつけて、撮影しながら見て廻ることができました。

出展は11の市老連から19ブース、他に商工会（ひなもん教室）・柳井縞の会（機械織り体験）、福祉協議会（啓発）の22のブースの出展が有り、いずれも名人芸の作品が多かったです。

ステージ出演は10時20分より混声コーラスで始まり、午前中に8つ、午後8つ、18日は午前中9つ、19日は午前中に7つ、午後7つ、合計で39の出演で、18日15時30分に閉会式でした。



「第27回全老連女性リーダーセミナー」に参加して



県老連女性部会長

寺田 道子



吉岐市老連女性部長

井戸川 哲子 (筆者)



平成27年11月19日(木)～20日(金)
東京都「新霞が関ビル」で開催され、参加者数125名が全国から参
集し、長崎県からは寺田女性部会長と私が参加しました。

第一日目 13時30分開会

○開催あいさつと日程・資料説明

○基調報告 (60分)

「老人クラブの全国運動・行動
提案について」

休憩

○事例発表① (30分)

女性会長の会で女性の参画を
推進しよう

○事例発表② (30分)

「ご近所福祉ネットワーク活
動」への参加

○分散会(グループ協議への進
め方 (30分)

第二日目 9時30分

○いきいきクラブ体操 (10分)

○分散会
28グループ別協議 (140分)

◇グループ12 (4名)

愛知県・和歌山県・
香川県・長崎県 (井戸川哲子)

○選んだ活動
ゴミ集積所のネットの片付け

《奉仕》

・みんなと一緒に奉仕の喜び、楽し
くできる。

《分別》

・分別が丁寧になり会話がはずむ。
・ゴミをきちんと出す習慣になる。
・分別が良くなります。

《情報交換》

・みんなとの出会いが楽しみ。
・子供等に周知させる。
・みんなに会えて話し合いができ
る。

《自覚・活動をアピール》

・地域に役立つことをしている。
(自覚)
・地域に役立っている。
・皆の役に立っていることで自分
に責任を持てる。

《加入促進》

・週2回の間に情報交換し加入促
進につながる。

◇5年後、10年後に自分がしても
らいたい事柄について

・買い物手伝い・家事手伝い・通
院等の足・ゴミ出し・墓掃除・
相談相手など

○全体会 (50分)

・老人クラブ保険の説明
・全国老人クラブ連合保険係
・全体会の事務局説明

○閉会挨拶

全国老人クラブ連合会
常務理事 齋藤秀樹

女性セミナーに出席させていた
だき、私の地元では思いも付かな
い活動をしていることに刺激を受
けました。女性中心の活動の中で
素晴らしい成果を上げているクラ
ブの実情に感銘を受けました。
地元の特性を活かした活動を考
えて魅力ある女性の参画を推進し
ようと思いました。



この機関誌は共同募金の
配分金により発行しました。

長崎市老連 城田治幸
 (前県老連事務局長)

11月23日(月)、集合場所を国内線ターミナルと間違われるというちよつとしたハプニングもあり、予定の9時を少し過ぎましたが、無事に福岡空港に全員集合。昨年は急遽中止となったため、初参加のHさんご夫妻を除いて2年ぶりの再会でしたが、早速、お互いの近況を報告しあうなど、自然にいつもの家族的な雰囲気。

10時55分福岡空港発、中華航空機で一路台北へ。食事やビデオ鑑賞等、あわただしく機内で過ごし、現地時間12時35分に桃園国際空港に無事到着。

空港で現地ガイドの康さんの迎えを受け、最初に向かったのは、台北のランドマーク「台北101展望台」。ギネス認定の世界最速エレベーターで地上89階(高さ382m)までわずか37秒で到着。曇り時々雨の予報にもかかわらず、青空ものぞくま



台北 101 展望台

まずの天気で、中国大陸までとはいきませんが、大パノラマを満喫しました。

次は、約33万人の英霊を祀る「忠烈祠」、一糸乱れぬ衛兵交代式を見学、何があっても直立不動のこのと、蚊に刺されたら大変だろうなと余計な心配をしながら宿舎「アンバサダーホテル台北」へ。

夕食は、行列の出来る小籠包店として有名な「鼎泰豊(デインタيفون)」で点心料理。次々と出されるスピードに負けないよう必死で口に入れ、長いこと待つて食事時間は30分少々でした。

11月24日(火)、朝から世界四大博物館の一つ「故宫博物院」へ。中国

歴代王朝の至宝、特に有名な「翠玉白菜」などを鑑賞。中国の壮大な歴史を再認識させられるとともに、これらを大陸から運んできた先人の苦勞が偲ばれました。

昼食は市内のレストランで北京料理の「北京ダック」などをいただき、その後、地質公園「野柳風景区」へ。海食や風化による「女王頭」などの奇岩が立ち並ぶ様まさに大自然が作った彫刻でした。

その後バスは東の山間部へ。「十分(地名)」では天燈(ミニ熱気球)上げに挑戦、それぞれ願い事を書いて空高く飛ばしました。家族の健康や幸福を書かれた方が多かったようですが、中には「宝くじが当たりますように」と書かれた方も。年末ジャンボはいかがだったでしょうか？

続いて向かったのが、映画「非情城市」の舞台となり、最近テレビ等で取り上げられ有名になった「九份」。かつて金鉱の街として栄え、斜面に石段や石畳の小道が縦横に走り、長崎とよく似た情緒豊かな風景が広がっていました。狭い小道に人が溢れ、これには閉口しました。

幻想的な夜景を見ながらの夕食、最後の夜をロマンチックに過ごすことができました。

11月25日(水)、いよいよ最終日。極彩色に彩られた寺院「関渡宮」

を見学の後、淡水河の河口に広がる港町「淡水」へ。丘の上に立つ「英国領事館跡」から見た風景は、長崎のグラバー園あたりとそっくりで驚きました。



関渡宮

台北市内に戻り昼食は飲茶料理。全員で一つのテーブルを囲み、最後の本場の中国料理を名残惜しく味わいました。その後、免税店を経由して桃園国際空港へ。

16時30分発の予定が遅れ、17時過ぎに当空港を飛び立ち、日本時間20時に無事福岡空港に到着。あわただしく入国手続きを済ませ、どうにか予定のバスに間に合い無事その日のうちに自宅に帰着。

二年ぶりの夫婦での旅行でしたが、同行の皆様のお陰で、楽しく思い出に残るものとなりました。ありがとうございました。

「銀の翼」も今回で11回目、そ

のうち6回参加し、いつも和気あいあい、家族的な雰囲気です。楽しんで過ごさせていたただいております。

「銀の翼」は、私を含め毎年楽しみにしている方もおられます。今後も、「高齢者にやさしい」というその良さを最大限活かしながら、老人クラブ会員、非会員問わず、さらに多くの方が参加できるように、取り組んでいただかれるよう期待しております。

また、長崎県老連は、本年めでたく創立50周年を迎えられたとのこと、誠におめでとうございます。歴代の会長はじめ、これまで貴会の運営にご尽力いただいた皆さまに深く敬意を表しますとともに、今後一層のご発展を心よりお祈りいたします。



忠烈祠

(追記)

今回もご参加いただいた八木武代様が12月31日に85歳で亡くなられました。心よりご冥福をお祈りいたします。

平成27年度「社会奉仕の日」(9月20日)活動報告

会員の皆様には老人クラブ「老人の日・老人週間」における活動にご協力いただきありがとうございました。各取り組みのうち「社会奉仕の日」の活動について下記のとおり集計しました。

市町老連名	美化活動		環境にやさしい活動		計	
	クラブ数	会員数	クラブ数	会員数	クラブ数計	会員数計
長崎	300	3,703	129	1,808	429	5,511
佐世保	122	2,153			122	2,153
島原	49	523			49	523
諫早	94	1,850	12	137	106	1,987
大村	40	1,095	14	268	54	1,363
平戸	19	329	1	21	20	350
松浦	27	843	39	959	66	1,802
対馬	20	350	12	206	32	556
壱岐	60	1,545	26	513	86	2,058
五島	32	752	24	569	56	1,321
西海	33	1,454	11	419	44	1,873
雲仙	74	1,134			74	1,134
南島原	98	2,383	32	859	130	3,242
長与	26	632	3	45	29	677
時津	18	235			18	235
東彼杵	12	323			12	323
川棚	22	573	5	136	27	709
波佐見	15	565	1	33	16	598
小値賀	20	85	20	85	40	170
佐々	6	86	3	45	9	131
新上五島	50	871	6	109	56	980
計	1,137	21,484	338	6,212	1,475	27,696

注) クラブ数、会員数は延べ数



第13回
長崎県

ねんりんピック

兼 ねんりんピック長崎2016派遣選手選考会

総合開会式
午前9:30から
平成28年5月14日(土)

場所
長崎市総合運動公園
かきどまり陸上競技場

スポーツ交流大会

開催日時 平成28年5月14日(土) 申込受付 平成28年1月7日(木)~2月29日(月)

長崎市総合運動公園

- ◎テニス
- ◎ソフトテニス
- ◎ゲートボール
- ◎グラウンド・ゴルフ
- ◎サッカー
- ◎ターゲット・バードゴルフ

※佐世保市体育文化館

- ◎太極拳

※長崎県立総合運動公園 (諫早市)

- ◎マラソン
- ◎ローンボウルス

※諫早市小野体育館

- ◎卓球
- ◎剣道

※佐世保市営温水プール

- ◎水泳

※諫早市小野ふれあい広場

- ◎わのわリング

※諫早市中央体育館

- ◎ソフトバレーボール

※諫早市多良見
なぞみの里運動公園

- ◎ベタンク
- ◎ソフトボール
5月14日(土)~15日(日)

ハサージュ専海アイランド
ゴルフクラブ (長崎市)

- ◎ゴルフ

平成28年4月4日(月)
申込受付
平成28年2月25日(木)
~3月25日(金)

大村市弓道場

- ◎弓道

大村Jボウル

- ◎ボウリング
平成28年4月23日(土)
申込受付
平成28年1月7日(木)
~3月25日(金)



※は12月17日(木)現在の競技開催地予定です。

囲碁・将棋・健康マージャン交流大会

長崎県勤労福祉会館(長崎市)

囲碁 開催:平成28年5月28日(土) 将棋 開催:平成28年5月15日(日)

申込受付 平成28年
1月7日(木)~4月15日(金)

マージャンハウスいでがみ(長崎市)

健康マージャン 開催:平成28年5月15日(日)

生きがい作品展

開催 平成28年6月2日(木)~6月5日(日) 申込受付 平成28年1月7日(木)~4月28日(木)

長崎県美術館

- ◎日本画
- ◎洋画
- ◎写真
- ◎書
- ◎工芸
- ◎彫刻

主催



長崎県



(公財)長崎県すこやか長寿財団



(公財)長崎県老人クラブ連合会

お問い合わせ先

(公財)長崎県すこやか長寿財団 〒852-8104 長崎茂里町3-24 長崎県総合福祉センター 県棟3階
E-mail info@sukoyska-nagasaki.or.jp URL http://www.sukoyska-nagasaki.or.jp

TEL 095-847-5212
FAX 095-847-6181

老人クラブ 3つの保険 〈掛金・保険金内容〉

傷害保険

平成25年10月1日改定

1 総合型

〈クラブ活動中・クラブ活動中以外を問わず日常生活全般(24時間)のケガを補償します。〉

クラブ活動中のケガの場合は、**白地** + **薄いグレー** の合計 **黒色** の保険金額が支払われます。

クラブ活動中以外のケガの場合は、**薄いグレー** のみの保険金額が支払われます。

年間掛金	3,500円	5,000円	10,000円	
ケガをした時の状況	活動型 活動中のケガの場合	総合型 活動中以外のケガの場合	活動型 活動中のケガの場合	総合型 活動中以外のケガの場合
死亡保険金	45万円 136万円	91万円 194万円	85万円 109万円	170万円 387万円
後遺障害保険金 (注1)	45万円 45万円	— 85万円	— 170万円	— 170万円
入院保険金日額 (注2) (1事故につき30日限度)	1,000円 1,750円	750円 2,950円	2,000円 2,950円	950円 5,900円
通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	650円 1,150円	500円 2,000円	1,300円 2,000円	700円 4,000円

※「総合型」の職種別A級は無職・事務職(傷害リスクの低い職業)等です。B級(傷害リスクの高い職業)については、下記をご参照ください。

ご注意

- 職種別B級に該当するおもな職種
建設作業員、自動車運転者・乗客、採石作業員などの傷害リスクの高い職業。
- 上記に該当する方は、保険金額が変更になります。
- 詳しくは取扱代理店もしくは引受保険会社にお問合せください。

2 活動型

〈クラブ活動中とその往復途上(注3)のケガを補償します。〉

クラブ活動中のケガの場合は、**白地** のみの保険金額が支払われます。

クラブ活動中以外のケガの場合は補償されません。

年間掛金	500円	1,000円	2,000円	
ケガをした時の状況	活動型 活動中のケガの場合	総合型 活動中以外のケガの場合	活動型 活動中のケガの場合	総合型 活動中以外のケガの場合
死亡保険金	45万円	補償なし	85万円	補償なし
後遺障害保険金 (注1)	45万円	補償なし	85万円	補償なし
入院保険金日額 (注2) (1事故につき30日限度)	1,000円	補償なし	2,000円	補償なし
通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	650円	補償なし	1,300円	補償なし

※注1 後遺障害保険金は、クラブ活動中のケガに起因する場合のみが対象となります。(後遺障害の程度に応じて、クラブ活動中の死亡・後遺障害保険金額の4%~100%が支払われます。)

※注2 手術保険金のお支払額は、入院中以外(外来)は、入院保険金日額の5倍または入院中は、10倍となります。

※注3 往復途上とは、自宅(マンション、アパートなどの集合住宅は専用部、戸建ては敷地を含む)を出てから、活動場所までの通常経路を指します。

クラブの全会員加入が条件です。

賠償責任保険

平成27年10月から一部改定

3 クラブ全員型

*印：改定

補償範囲：老人クラブ活動中の対人・対物の損害補償(車等の事故は、対象外)(注1)
管理下財物(注2)の損壊、紛失、盗取、詐取を補償します。但し、往復途上の事故およびご自身のケガは対象となりません*。
注1)自動車(ゴルフカートを含みます。)、原動機付自転車、フル電動自転車、航空機、船舶(モーターボートを含みます。)、および銃器(空気銃を除きます。)
等の所有、使用等に起因する損害賠償責任等
注2)日本国内において被保険者(単位老人クラブ・会員)が占有または使用等している第三者の財物

掛金：クラブの全会員数×100円(但し、最低引受保険料3,000円)*

支払限度額：1億円 ※施設賠償責任保険：対人・対物(1名・1事故) ※生産物賠償責任保険：対人・対物(1名・1事故・保険期間中)
※初期対応費用、訴訟対応費用特約：支払限度額500万円(1事故)も付帯されております。* ※詳細については、賠償責任保険の「概要・ご加入の際の注意事項」をご参照ください。(お支払される保険金は、事故の損害額や賠償責任割合に基づき、保険会社が査定いたします。)

保険期間：毎年10月1日(午前0時)~翌年10月1日(午後4時)までの1年間

申込方法：毎年9月15日までに賠償責任保険専用の掛金払込用紙(払込取扱票)で掛金を払込みください。
加入時に会員名簿の提出は必要ありません*。

中途加入：「新規加入のクラブ」および「会員の追加加入」は可能です。
・「新規加入クラブ」：毎月15日までに掛金の振込で翌月1日からの加入となります。但し、保険期間は直近の10月1日までとなります。
・「会員追加加入」：届出は不要です。掛金は加入年に限り必要ありません*。



公益財団法人全国老人クラブ連合会 保険係

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目6-14 三久ビル1階102号

加入申込書等、資料請求先

◆最寄りの市町村老人クラブ連合会に常備しています。
◆不足の場合は市町村老連を通じて下記までご請求ください。

受付時間 9:30から17:00まで(土、日、祝祭日、年末年始休)

専用FAX 03-3597-8767

お問い合わせ先 03-3597-8770

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> (老人クラブ傷害保険) (検索) メールアドレス hoken@senior-ltd.com

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8769
(引受保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社 (担当課) 医療・福祉法人部 法人第二課 TEL.03-3515-4144

この広告は、「老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険)」、「普通傷害保険」、「老人クラブ活動専用賠償責任保険(施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険)」についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「老人クラブ3つの保険ご案内パンフレット」「概要・ご加入の際の注意事項」等をよくお読みください。ご不明な点等がありました場合には、全老連保険係または取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。

15-T01142 平成27年6月作成 2

地域文化



2016年
10月15日(土) ▶ 17日(月)

午前10時～午後5時

会場

長崎県立総合体育館

主管

公益財団法人 全国老人クラブ連合会
公益財団法人 長崎県老人クラブ連合会



第29回全国健康福祉祭ながさき大会

ねんいんピック長崎2016

長崎で ひらけ長寿の 夢・みらい

編集
集
雑
感

県老連創立50周年ということで40周年当時に在籍された役員の方に寄稿していただき、併せて、山口県において開催された地域文化伝承館の視察レポートを掲載しましたので、いつもより4ページ多い編集となりました。寄稿依頼ため長門元副会長さんと高橋元事務局長さんにお会いしましたが、おふた方ともお元気でイキイキされており、今でも役員としてご活躍されるのではないかと感じました。紙面の都合で掲載できませんでしたが、楽しいエピソードもたくさん聞かせていただきました。また「銀の翼」に毎回参加いただいている85歳になられた女性の方もお元気で、旅行を楽しんでおられたようでした。今回の出会で諸先輩方から頂いた、たくさんの方の元気があと10か月となった伝承館へのエネルギーとなるよう頑張ります。(華)

光と風の輪 第43号

平成28年1月20日発行

発行 (公財)長崎県老人クラブ連合会

長崎市茂里町3-24

☎095-846-5000

発行人 島中 英安

編集人 本田 哲朗

印刷 日本紙工印刷株式会社